

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名 難病患者見舞金支給事業	所管	保健福祉部 障害福祉課
		TEL 2998-9116

事業の目的 (何の為に 行うか)	難治性の疾患を有する者に見舞金を支給することにより、心身の慰労と経済的・精神的負担の軽減を図る。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	難病患者(特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾患医療受給者証、指定疾患医療受給者証のいずれかを所持する者)	対象とした数	2,128	人
		実際に 利用した数	1,620	人

活動の内容	(何を したか)	【難病患者に対し、毎年度1回、申請に基づき見舞金を支給する事業】							
		1 市は、広報(年に3回程度)等により制度の周知を図る。 2 対象者は、毎年度1回「難病患者見舞金」の支給申請を行う。 3 市は、申請者の受給資格を審査し、認定(却下)通知を送付する。 4 市は、認定した者に対し、見舞金(25,000円)を支給する。							
活動実績	項目名	見舞金支給者	1620	項目名		項目名		項目名	
			----- 単位 人				----- 単位		----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	37,841	40,613	41,552	122.6

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明(計算方法等)	目標値	実績	達成率
	受給者率	受給者÷対象者(所沢市重度心身障害福祉手当受給者を含む)×100	100 ----- 単位 %	76.1 ----- 単位 %	76.1 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕							
		終了 ⇒ 事業完了		終了		休止			
	予算	* 現状どおり 増額		減額		終了			

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了									
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了		
	予算	現状どおり 増額		減額		終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	040300	TEL	2998-9116
事業コード	040324	難病患者見舞金支給事業	保健福祉部 障害福祉課			
開始年度	平成 3 年度	→	終了年度	平成 年度		
		グループ	総務担当			

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市障害者計画			
	関連・類似事業	所沢市重度心身障害福祉手当支給事業(障害福祉課)、特別障害者手当支給事業(障害福祉課)			
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	4節 障害者福祉
		中柱	2 福祉施策の充実		小柱 (2)在宅福祉サービスの充実
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 26 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○		
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ				
	コード	3261	事務事業見直しの推進	コード	1111
			市民の知りたい情報の提供	コード	
	事業開始の背景	難病患者は身体障害者等の障害者手帳所持者に比べ、対象となる補助制度が少ない中であって、難病患者の経済的な負担を軽減し、心身の慰労を図る必要があることから、見舞金という形の補助として始まった。			

目的(何のために行うか、具体的に)					
難治性の疾患を有する者に見舞金を支給することにより、心身の慰労と経済的・精神的負担の軽減を図る。					
対象(誰を、何を対象としているのか)		利用数の考え方			
難病患者(特定疾患医療受給者証、小児慢性特定疾患医療受給者証、指定疾患医療受給者証のいずれかを所持する者)		見舞金受給者			
対象数	単位	平成 18 年度	2,078	人	
		平成 19 年度	2,128	人	
利用数	単位	平成 18 年度	1,357	人	
		平成 19 年度	1,620	人	
事業の具体的な内容及び実施方法					
【難病患者に対し、毎年度1回、申請に基づき見舞金を支給する事業】					
1 市は、広報(年に3回程度)等により制度の周知を図る。					
2 対象者は、毎年度1回「難病患者見舞金」の支給申請を行う。					
3 市は、申請者の受給資格を審査し、認定(却下)通知を送付する。					
4 市は、認定した者に対し、見舞金(25,000円)を支給する。					

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 >>				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
平成19年度中に改善した点					
難病患者の認定は保健所が窓口となっており、個人情報保護の観点から現状では市が難病患者のデータを把握することが出来ないことから、保健所に制度周知の為に案内チラシの配布を依頼しているが、対象者へのインパクトを強める為に色紙を使用したチラシの配布を開始した。					

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		41,849	37,841	37,604	
	決 算 (見込み含む)		34,266	40,613		
		(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (0.15 人)	(人) (0.40 人)		
	正規職員人件費		0.28 人	2,576	0.10 人	
					939	
	公債費					
	事業費合計		36,842	41,552		
	財源内訳	一般財源		36,842	41,552	37,604
		国・県支出金				
受益者負担金						
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		109.0	122.6			
利用数一単位あたり(単位:円)		27,149.6	25,649.6			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	見舞金支給者	実績による	人	1357	1620	1670
	成果分析	受給者率	受給者÷対象者(所沢市重度心身障害福祉手当受給者を含む)×100	%	100	100	100
				%	65.3	76.1	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2
			%	65.3	76.1		1

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 見直しの必要性 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input checked="" type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	近隣市町村との助成額を比較したところ、当市の助成額は必ずしも高くない水準であることが判明した。市町村によっては手当形式で難病患者へ支給を行ったり、重度心身障害福祉手当との併給を行っている自治体も複数存在している。平成20年4月より肝炎特別促進事業が開始されたこともあり、難病患者への支援策について、国・県・他市の状況を注視していく。		
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	難病患者見舞金制度の周知を徹底する。	ホームページや広報を通じて制度の周知を図るとともに、保健所と連携して、制度の案内チラシを対象者に配布する。	当該年度内
	平成21年度における事業の方向性			
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	評価理由	予算措置は現状どおりの方向で考えていくこととするが、近年いわゆる難病を抱える者たちへの支援策は大きな話題として取り上げられていることもあり、状況によっては事業の見直しを検討していくことも考えられる。		
	評価日	平成20年5月31日	記入者職氏名	障害福祉課長 森田 昇

⑧二次評価	一次評価	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	評価理由	評価日				
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	評価理由	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業 <input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業				

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	2131
	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます			
	主要課題	1すべての子育て家庭への支援			
施策の方向	3経済的支援の充実				